

4	<b>世界三大宗教</b>	学習日 月 日	名前
---	---------------	------------	----

キリスト教・イスラーム教・仏教を世界三大宗教といい、世界の人口の62%がいずれかの信者である。

宗教は神の存在の有無(無神教・有神教)や特定の開祖、教義、聖典の有無、信者の分布範囲(民族宗教・世界宗教)などの違いがみられる。なお、イスラーム教徒キリスト教はいずれもユダヤ教を母体とする宗教である。日本では特定の宗教を意識していない人も多いが、他国の宗教・信仰に関心を持ち、敬意を払うことがグローバル化の進む現代社会では必要なことの一つである。

1. キリスト教

① ユダヤ教の成立

絶対神(1 )を信仰する一神教で、教典は(2 旧約聖書 )  
 「創世記」によれば、神が世界を創造し、その後アダムやイヴを作った。  
 BC13c頃、(3 )… 預言者(4 )が指導  
 → シナイ山で神から(5 )を授かる = 律法(神との契約)の原点  
 BU6c (6 )…(7 )の地から強制連行  
 → 解放後、(8 )に神殿を建設。ユダヤ教が成立  
 最後の審判が行われる世界の終末に、(9 )の後輪を待望

② キリスト教の成立

1cのパレスチナでイエスが創始  
 ユダヤ教の戒律主義を批判し、神の絶対愛と隣人愛の実線を説く  
 イエスがイェルサレムで刑死後、彼を神の子(10 キリスト )とする信仰が成立  
 教典は『旧約聖書』と(11 )= イエスと使徒の言行録

③ キリスト教の分派

11c 西欧の(12 )と東方の(13 )に分裂  
 16c 宗教改革が起こり、(14 )諸宗派が成立

2. 仏教

① 仏教の成立

BC5c、(15 )が創始、尊称: 仏陀  
 現世は苦であり、八正道の実践による涅槃(解脱)を説く  
 ※ (16 )の思想 … 現世の業(カルマ = 行為)によって来世が決定

② 大乘仏教の成立

従来の仏教は出家と修行による個人の救済を重視 = (17 )  
 紀元前後、インド北西部を中心に大衆の救済を図る(18 )が成立  
 仏像とともに、中国・朝鮮・日本に伝播 → 北伝仏教とも呼ばれる

③ ヒンドゥー教の成立

古代インドのバラモン教に諸宗教・信仰が融合して成立  
 特定の教義・教典はないが、(19 )= 舞踏・破壊の神など3大神が人気  
 現在のインドの人々の約 8 割が信仰  
 牛を神聖視する、ガンジス川で沐浴を行うなどの風習を持つ

3. イスラーム教

① 成立

7cのアラビア半島でアラブ人が創始  
 メッカの商人(20 )が創始 = 「最後で最大の預言者」  
 唯一絶対神(21 )への絶対帰依、神の前の平等を説く  
 教典:(22 )= コーラン  
 ユダヤ教徒やキリスト教徒を「啓典の民」とみなす → 納税により信仰を保証  
 (23 )= 信者には六信五行の義務  
 豚を食すこと、飲酒、利子を取ることを禁止  
 三大聖地 = (24 )・メディナ・イェルサレム  
 (25 )= 聖戦 … 異教徒から信仰を守るための戦い

② 分派

(26 )  
 歴代のカリフを指導者として認める多数派(約 9 割)

(27 )

アリーとその子孫の身を指導者と認める少数派(約 1 割)

③ 原理主義

本来の信仰の在り方に立ち返ろうとする立場

